

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	20 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡の内577.06㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 24名 （内 訳）施設長(1(兼務))、栄養士(兼務)、生活相談員(2)、機能訓練指導員(アルバイト3)、看護師(短1、アルバイト1)、ケアワーカー(常1(兼)、短4、アルバイト7)、その他(アルバイト6) （前年増減）+5 ケアワーカー（アルバイト-1）、その他(アルバイト+6)

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	10,073,800	17,968,009	9,843,000	9,843,000
	利用料金収入	72,820,000	62,596,049	73,239,000	72,692,426
	その他収入（市町村特別事業収入等）	4,703,200	2,470,038	576,000	647,200
	計	87,597,000	83,034,096	83,658,000	83,182,626
支出	人件費	48,256,000	46,396,335	50,383,000	52,769,625
	光熱水費	4,738,000	4,263,223	4,623,000	4,919,533
	維持管理費（委託料・賃借料）	22,600,000	21,220,389	14,811,000	14,562,206
	修繕費	328,000	84,065	500,000	277,806
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	11,675,000	9,600,335	13,341,000	8,603,983
	計	87,597,000	81,564,347	83,658,000	81,133,153
収支			1,469,749		2,049,473

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
開館日数	日	311	311	311	312
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率	%	82	80.4	78.5	80.7
利用者数	人	9,000	8,692	7,609	8,812

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
新型コロナウイルス感染防止対策を継続しつつ、利用率や利用人数を増加させてきている。また、収支についても維持管理費のコスト改善に取り組んだ結果、令和2年度から改善している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令の遵守、事業計画書の策定等、管理運営は適正に行われている。また、緊急時の連絡体制の整備、地元町会との災害応援協力協定の締結等、危機管理体制の整備も適切に行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	施設内などで開催される研修に、計画的に職員を参加させる等、福祉施設の職員として技能の向上に継続的に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながらサービスの提供を継続し、利用率は令和2年度から改善した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の管理委託点検結果の確認や、職員による日常巡回・定期巡回を行い、異常箇所の早期発見及び早急な修繕を行うなど、適切な処置に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	満足度調査の自由意見においても感謝の言葉が多く見られ、福祉施設として良好な運営がなされている。調査結果に寄せられた要望等についても、日々の運営に積極的に生かせるよう取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時の清掃員を雇ったことにより、人件費は予算額を超えた支出になっている。その他、光熱水費も令和2年度より高くなっているものの、維持管理費の削減を行ったことにより、プラス収支を達成できた。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策のため多くの行事を中止する等の制限があったが、利用者とのコミュニケーションを密にして、高い満足度を維持することにより、利用率、利用人数を増加させることができた。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、「敬老会」等の行事を実施できる方法はないか、再考は必要である。また人件費の増についても、予算と均衡のとれた支出となるよう運営の工夫が必要である。</p>